

例解日汉成语词典

李宗惠 编著

科学技术文献出版社

(京)新登字 130 号

图书在版编目 (CIP) 数据

例解日汉成语词典/李宗惠编著. —北京: 科学技术文献出版社, 1995. 6

ISBN 7-5023-2438-0

I. 例… II. 李… III. 例解日汉成语词典—日、汉 IV. H363.3-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (94) 第 1175 号

科学技术文献出版社出版

(北京复兴路 15 号 邮政编码 100038)

北京建华胶印厂印刷 新华书店北京发行所发行

1995 年 6 月第 1 版 1995 年 6 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 32 开本 21.125 印张 676 千字

社科新书目: 386—172 印数: 1—2000 册

定价: 44.00 元

前 言

《例解日汉成语词典》是为具有中等以上水平的日语学习者和从事日语教学与翻译工作人员之需要而编写的。

本词典共收入日本人常用的成语、熟语、惯用语等三千余条。逐条都作了详解，其中大多数词条附有用例，不少词条后还列举了同类语与相对语。借此既可达到举一反三、扩充词语运用之目的，又可帮助读者更准确地理解与掌握每个成语的含义。

《例解日汉成语词典》是按五十音图顺序编排的，为了便于查阅，书中附有目录索引。

本书在编写过程中参考了不少中外有关的词书，在此谨表谢意。

由于编者水平有限，缺点与错误在所难免，恳请读者提出宝贵意见。

编 者

1993 年 8 月

目 录

あ

ああ言えばこう言う …… (1)	赤子の手をひねる …… (6)
ああでもないこうでも ない …… (1)	証を立てる …… (6)
合縁奇縁 …… (1)	垢抜けがする …… (7)
愛敬を振りまく …… (1)	赤の他人 …… (7)
挨拶を交わす …… (2)	赤恥をかく …… (7)
相性が良い …… (2)	空樽は音高し …… (7)
愛想が尽きる …… (2)	秋の鹿は笛に寄る …… (7)
開いた口が塞がらない …… (2)	秋の日はつるべ落とし …… (8)
開いた口には戸はたたぬ …… (3)	悪運が強い …… (8)
間に立つ …… (3)	灰汁が強い …… (8)
愛着を感じる …… (3)	灰汁が抜ける …… (8)
相槌を打つ …… (3)	悪妻は百年の不作 …… (8)
相手次第 …… (4)	悪事千里を行く …… (9)
相手にとって不足はない …… (4)	悪戦苦闘 …… (9)
相手のない喧嘩はできぬ …… (4)	悪銭身に付かず …… (9)
会うは別れの始め …… (4)	悪態をつく …… (9)
青息吐息 …… (4)	胡座をかく …… (10)
青くなる …… (5)	揚げ足を取る …… (10)
青筋を立てる …… (5)	挙げ句の果て …… (10)
青田買い …… (5)	上げ潮に乗る …… (10)
青菜に塩 …… (5)	上げ膳据え膳 …… (10)
青二才 …… (5)	上げたり下げたり …… (11)
青は藍よりいでて藍より 青し …… (6)	明けても暮れても …… (11)
煽りを食う …… (6)	顎が落ちる …… (11)
足掻きが取れない …… (6)	顎が外れる …… (11)
	顎が干上がる …… (11)
	顎で使う …… (12)
	顎を出す …… (12)
	朝起きは三文の徳 …… (12)

朝顔の花一時 …………… (12)	味を見る …………… (20)
浅き川も深く渡れ …………… (12)	明日ありと思う心のあ
浅瀬に仇浪 …………… (13)	だ桜 …………… (20)
麻の中の蓬 …………… (13)	明日の百より今日の五十
朝飯前 …………… (13)	…………… (20)
足がすくむ …………… (13)	東男に京女 …………… (20)
足が地につく …………… (14)	汗の結晶 …………… (20)
足が付く …………… (14)	汗水流す …………… (21)
足が出る …………… (14)	汗を入れる …………… (21)
足が鈍る …………… (14)	汗をかく …………… (21)
足が速い …………… (14)	徒となる …………… (21)
足が棒になる …………… (14)	頭が上がらない …………… (21)
足が乱れる …………… (15)	頭が切れる …………… (22)
足が向く …………… (15)	頭かくしてしりかくさず
悪からず …………… (15)	…………… (22)
明日は明日の風が吹く …… (15)	頭が下がる …………… (22)
足留めを食う …………… (15)	頭が低い …………… (22)
足並みが揃う …………… (16)	頭で、かち尻すぼり …… (22)
足に任せる …………… (16)	頭に来る …………… (23)
足の踏み場もない …………… (16)	頭ので、べんから足の爪先
味も素。気もない …………… (16)	まで …………… (23)
足元から鳥が立つ …………… (17)	頭割にする …………… (23)
足元から火が付く …………… (17)	頭を痛める …………… (23)
足元にも及ばない …………… (17)	頭を抱える …………… (23)
足元の明るうちに …… (17)	頭を掻く …………… (24)
足元へも寄り付けない …… (18)	頭をかる …………… (24)
足元を見る …………… (18)	頭を下げる …………… (24)
足を洗う …………… (18)	頭を悩ます …………… (24)
足を入れる …………… (18)	頭を撥ねる …………… (24)
足を奪われる …………… (19)	頭を捻る …………… (24)
味を占める …………… (19)	頭を冷やす …………… (25)
足をすりこぎにする …… (19)	頭を擡げる …………… (25)
足を延ばす …………… (19)	徒やおろそか …………… (25)
足を運ぶ …………… (19)	新しい酒を古い革袋に入
足を引っ張る …………… (19)	れる …………… (25)

当らずといえども遠か		後をつける …………… (32)	
らず …………… (26)		後を引く …………… (32)	
辺り構わず …………… (26)		穴が開く …………… (32)	
当りが悪い …………… (26)		穴があったら入りたい …… (32)	
当るも八卦当らぬも八卦		穴の開くほど …………… (33)	
…………… (26)		穴を開ける …………… (33)	
当るを幸い …………… (26)		穴を埋める …………… (33)	
仇を討つ …………… (26)		あの手この手 …………… (33)	
彼方立てればこちらが立		あばたもえくぼ …………… (33)	
たぬ …………… (26)		あぶない所に上がらねば	
悪貨は良貨を駆逐する …… (27)		熟柿は食べぬ …………… (34)	
呆氣に取られる …………… (27)		危ない橋を渡る …………… (34)	
暑さ寒さも彼岸まで …… (27)		虻蜂取らず …………… (34)	
暑さ忘れりゃ蔭忘れる …… (27)		油が切れる …………… (35)	
あ。と言う間に …………… (27)		脂が乗る …………… (35)	
あ。と言わせる …………… (28)		油に水 …………… (35)	
糞に懲りて膾を吹く …… (28)		油を売る …………… (35)	
あつらえむき …………… (28)		油を絞る …………… (36)	
当てが外れる …………… (28)		油を流したよう …………… (36)	
当ず。ぼうを言う …………… (29)		甘い汁を吸う …………… (36)	
当てにする …………… (29)		甘い物には蟻がつく …… (36)	
当てになる …………… (29)		天下り …………… (36)	
後味が悪い …………… (29)		余す所無く …………… (36)	
後足で砂をかける …… (29)		雨だれ石を穿つ …………… (37)	
跡形も無い …………… (30)		天の邪鬼 …………… (37)	
後釜に掬わる …………… (30)		余り物に福がある …… (37)	
後先の考えもなく …… (30)		阿弥陀の光も金次第 …… (37)	
後にする …………… (30)		綱を張る …………… (38)	
後にも先にも …………… (30)		雨降。て地固まる …… (38)	
後の雁が先になる …… (30)		過ちては改むるに憚る	
後の祭り …………… (31)		勿れ …………… (38)	
後は野となれ山となれ …… (31)		有らん限り …………… (38)	
後を追う …………… (31)		有り合わせ …………… (38)	
跡を暗ます …………… (31)		有り難迷惑 …………… (39)	
跡を絶つ …………… (32)		有りのまま …………… (39)	

痛くも痒くもない …………… (52)	一葉落ちて天下の秋を
痛くもない腹を探られる	知る …………… (59)
…………… (53)	一蓮托生 …………… (59)
痛し痒し …………… (53)	一を聞いて十を知る …………… (59)
居たたまれない …………… (53)	一を知りて二を知らず …………… (60)
鼯の最後、屁 …………… (53)	一攫千金 …………… (60)
鼯のなき間の貂誇り …………… (53)	一家を成す …………… (60)
板に付く …………… (54)	一喜一憂 …………… (60)
至れり尽くせり …………… (54)	一気呵成 …………… (60)
一意専心 …………… (54)	一挙一動 …………… (61)
一衣帯水 …………… (54)	一挙兩得 …………… (61)
一か八か …………… (54)	一犬影に吠ゆれば百犬声に
一から十まで …………… (54)	吠ゆ …………… (61)
一芸は百芸に通ず …………… (55)	一切合切 …………… (61)
一事が万事 …………… (55)	一糸もまとわない …………… (62)
一時しのぎ …………… (55)	一矢を報いる …………… (62)
一日千秋 …………… (55)	一将功成りて万骨枯る …………… (62)
一日の長 …………… (55)	一触即発 …………… (62)
一時逃れ …………… (55)	一緒になる …………… (62)
一度あることは二度ある、	一心岩をも通す …………… (62)
二度あることは三度あ	一心同体 …………… (63)
る …………… (56)	一心不乱 …………… (63)
一難去ってまた一難 …………… (56)	一寸先は闇 …………… (63)
一年の計は元旦にあり …………… (56)	一寸の光陰軽んずべか
一念発起 …………… (57)	らず …………… (63)
一姫二太郎 …………… (57)	一寸の虫にも五分の魂 …………… (64)
一部始終 …………… (57)	一石二鳥 …………… (64)
一枚看板 …………… (57)	一石を投じる …………… (64)
一面識 …………… (57)	一線を画す …………… (64)
一網打尽 …………… (57)	一銭を笑う者は一銭に
一目置く …………… (58)	泣く …………… (64)
一目瞭然 …………… (58)	い、その事 …………… (65)
一も二もなく …………… (58)	一朝一夕 …………… (65)
一文惜しみの百失い …………… (58)	一頭地を抜く …………… (65)
一夜潰け …………… (58)	一刀兩断 …………… (65)

一敗地にまみれる …………… (65)	いやというほど …………… (72)
鰯蚌の争い漁夫の利と なる …………… (66)	いらぬ所へ顔を出す …… (72)
いつまでもあると思うな親 と金 …………… (66)	炒り豆に花が咲く …… (72)
いつも柳の下に泥鰌はおら ぬ …………… (66)	入れ替り立ち替り …… (72)
居ても立ても居られな い …………… (66)	色の白いは七難隠す …… (72)
糸を垂れる …………… (66)	色目を使う …………… (72)
糸を引く …………… (67)	色を失う …………… (73)
犬が西向き々尾は東 …… (67)	色をつける …………… (73)
犬と狼の仲 …………… (67)	色を作す …………… (73)
犬の遠吠 …………… (67)	言わぬが花 …………… (73)
犬も歩けば棒に当たる …… (68)	謂れのない …………… (73)
犬も食わぬ …………… (68)	意を汲む …………… (74)
命あての物種 …………… (68)	意を決する …………… (74)
命から二番目 …………… (68)	意を尽くす …………… (74)
命知らず …………… (68)	意を強くする …………… (74)
命の洗濯 …………… (69)	異を唱える …………… (74)
命の綱 …………… (69)	意を用いる …………… (75)
命を懸ける …………… (69)	股鑑遠からず …………… (75)
命を捧げる …………… (69)	陰に陽に …………… (75)
命を捨てる …………… (70)	
井の中のかわず大海を知ら ず …………… (70)	
意のまま …………… (70)	
意馬心猿 …………… (70)	
意表をつく …………… (70)	
今か今かと …………… (71)	
芋の煮えたも御存知ない …………… (71)	
芋を洗うよう …………… (71)	
否応なし …………… (71)	
嫌気が差す …………… (71)	

う

飢える犬は棒を怖れず …… (75)
飢えては食をえらばず …… (75)
上には上がある …………… (76)
上を下への大さわざ …… (76)
上を見ればきりが無い …… (76)
右往左往 …………… (76)
魚心あれば水心 …………… (76)
伺いを立てる …………… (77)
浮かぬ顔 …………… (77)
浮かぶ瀬がない …………… (77)
浮き足立つ …………… (77)
浮腰になる …………… (77)
憂き身をやつす …………… (77)
憂き目に逢う …………… (77)

受け売り …………… (78)	腕の見せどころ …………… (84)
烏合の衆 …………… (78)	打てば響く …………… (85)
動きが取れない …………… (78)	腕を拱く …………… (85)
右顧左眄 …………… (78)	腕を振るう …………… (85)
雨後の筍 …………… (78)	独活の大木 …………… (85)
牛に経文 …………… (79)	鶉のまねをするからず …… (86)
牛の歩み …………… (79)	鶉の目鷹の目 …………… (86)
牛は牛づれ馬は馬づれ …… (79)	産声をあげる …………… (86)
牛も千里馬も千里 …………… (79)	旨い事は二度考えよ …… (86)
氏より育ち …………… (79)	旨い汁を吸う …………… (87)
後髪を引かれる …………… (80)	馬が合う …………… (87)
後ろ指を指される …………… (80)	馬には乗。てみよ、人には
後ろを見せる …………… (80)	添うてみよ …………… (87)
うそから出たまこと …… (80)	馬の骨 …………… (87)
嘘は足が短い …………… (80)	馬の耳に念仏 …………… (87)
嘘八百 …………… (80)	馬は馬方 …………… (88)
嘘も方便 …………… (81)	旨味がある …………… (88)
税が上がらない …………… (81)	海に千年、河に千年 …… (88)
歌は世につれ世は歌につ	海の物とも山の物ともつか
れ …………… (81)	ぬ …………… (88)
打たれても親の杖 …………… (81)	膿を出す …………… (89)
うちの米の飯より隣の麦	有無相通ずる …………… (89)
飯 …………… (81)	有無を言わせず …………… (89)
内広がりの外すぼり …… (82)	紆余曲折 …………… (89)
内弁慶の外ねずみ …… (82)	裏には裏がある …………… (89)
内股膏藥 …………… (82)	裏の裏を行く …………… (90)
有頂天になる …………… (83)	恨みを買う …………… (90)
内を外にする …………… (83)	裏目に出る …………… (90)
現を抜かす …………… (83)	裏を返す …………… (90)
打って一丸となる …… (83)	裏をかく …………… (90)
打って変わる …………… (83)	裏を取る …………… (90)
腕が上がる …………… (84)	売り言葉に買い言葉 …… (90)
腕が鳴る …………… (84)	瓜の皮は大名に剥かせよ
腕に覚えがある …………… (84)	…………… (91)
腕に鍔りを掛ける …… (84)	瓜の蔓には茄子はならぬ

..... (91)	縁は異なもの味なもの (98)
瓜二つ (91)	煙幕を張る (98)
噂をすれば影がさす (92)	縁もゆかりもない (98)
上の空 (92)	遠慮会釈もない (99)
上前を撥ねる (92)	
運が強い (92)	お
運が向く (92)	老い木に花咲く (99)
雲泥の差 (93)	追い込みを掛ける (99)
うんともすんとも (93)	追い立てを食う (99)
運の尽き (93)	老いたる馬は道を忘れず (99)
運は天に在り (93)	追いつ追われつ (99)
運命に弄ばれる (93)	追風に帆を上げる (100)
	老いては騏驎も驚馬に劣 る (100)
え	老いては子に従え (100)
榮枯盛衰 (94)	老いてますます壮ん (100)
依怙地になる (94)	老いの繰言 (100)
得体が知れない (94)	負い目がある (101)
枝もたわわ (94)	大入り満員 (101)
得たり賢し (94)	応接に暇あらず (101)
枝を交わす (95)	大男総身に智慧がまわりか ね (101)
得手勝手 (95)	多かれ少なかれ (101)
得手に帆を揚げる (95)	大きな家には大きな風 (102)
江戸。子は五月の鯉で口ば かり (95)	大きな顔 (102)
江戸の敵を長崎で討つ (95)	大きなお世話 (102)
絵にかいた餅 (96)	大きな口をたたく (102)
海老で鯛を釣る (96)	大きな事を言う (102)
笑みの中の刀 (96)	大手を振る (102)
笑みを含む (97)	大鉈を振るう (103)
襟を正す (97)	大船も小穴から沈む (103)
縁起でもない (97)	大風呂敷を広げる (103)
縁起を担ぐ (97)	大向こうを喰らせる (103)
燕雀いずくんぞ鴻鵠の志 を知らんや (97)	大目玉を食う (104)
縁の下に力持ち (98)	

大目に見る	(104)	お天気屋	(110)
お門違い	(104)	男一匹	(110)
陸に上った河童	(104)	男がすたる	(111)
お株を奪う	(104)	男を上げる	(111)
岡目八目	(105)	男を下げる	(111)
起きて半畳寝て一畳	(105)	音に聞く	(111)
お灸を据える	(105)	同じ穴のむじな	(111)
奥が深い	(105)	鬼が出るか、蛇が出るか	(111)
奥の手	(106)	鬼に金棒	(112)
奥歯に衣を着せる	(106)	鬼の居ぬ間に洗濯	(112)
奥歯に物が挟まる	(106)	鬼の霍乱	(112)
暖気にも出さない	(106)	鬼の首を取ったよう	(112)
遅れを取る	(107)	鬼の空念仏	(113)
おごる平家久しからず	(107)	鬼の目にも涙	(113)
お先棒を担ぐ	(107)	己れの頭の蠅を追え	(113)
お里が知れる	(107)	己れの欲せざる所は人に	
押し合いへし合い	(107)	施す勿れ	(113)
教うるは学ぶの半ば	(108)	十八番	(113)
推して知るべし	(108)	お鉢が回る	(113)
おしどり夫婦	(108)	御被い箱	(114)
押しも押されもしない	(108)	お人好し	(114)
御釈迦様でも知るまい	(108)	帯に短し、たすきに長し	(114)
お釈迦になる	(108)	お百度を踏む	(114)
押すな押すな	(109)	尾鰭をつける	(114)
遅かろう良かろう	(109)	おふえばかりょう	(115)
遅かれ早かれ	(109)	おべっかをいう	(115)
お高くとまる	(109)	おぼれるものは、わらをも	
お為ごかしを言う	(109)	つかむ	(115)
小田原評定	(109)	お眼鏡にかなう	(115)
落ち目に祟り目	(109)	思いの外	(115)
お茶の子さいさい	(109)	思いも寄らない	(116)
お茶を濁す	(110)	思いを馳せる	(116)
落つれば同じ谷川の水	(110)	思う壺	(116)
お手の物	(110)		
お手柔らかに	(110)		

思う壺に嵌まる …………… (116)	恩をあだで返す …………… (122)
思う念力岩を通す …………… (116)	
表沙汰になる …………… (117)	か
重荷を下ろす …………… (117)	飼犬に手をかまれる …… (123)
親思う心に勝る親心 …… (117)	貝殻で海を測る …………… (123)
親子の仲でも金銭は他人 …………… (117)	開口一番 …………… (123)
親の心子知らず …………… (118)	鎧袖一触 …………… (123)
親の脛を齧る …………… (118)	甲斐性が無い …………… (124)
親の七光 …………… (118)	灰燼に帰す …………… (124)
親の欲目 …………… (118)	書いた物が物を言う …… (124)
親は無くとも子は育つ … (119)	快刀乱麻を断つ …………… (124)
親船に乗った気 …………… (119)	外聞が悪い …………… (124)
泳ぎ上手は川で死ぬ …… (119)	外聞を憚る …………… (124)
及ばぬ鯉の滝のぼり …… (119)	替玉を使う …………… (125)
及びもつかない …………… (119)	蛙の子は蛙 …………… (125)
折り合いがつく …………… (119)	蛙の面に水 …………… (125)
折り紙を付ける …………… (120)	顔色を窺う …………… (125)
折に触れて …………… (120)	顔が売れる …………… (126)
折もあろうに …………… (120)	顔が利く …………… (126)
折も折 …………… (120)	顔が揃う …………… (126)
終わりよければすべてよ し …………… (120)	顔が立つ …………… (126)
尾を引く …………… (120)	顔が広い …………… (126)
尾を振る …………… (121)	顔から火が出る …… (127)
温故知新 …………… (121)	顔に書いてある …………… (127)
恩知らず …………… (121)	顔に泥を塗る …………… (127)
音頭を取る …………… (121)	顔向けができない …… (127)
女賢しくて牛売り損なう …………… (121)	顔を合わせる …………… (127)
女三人寄れば姦し …… (122)	顔を潰す …………… (128)
女にすたれものなし …… (122)	顔を繋ぐ …………… (128)
女やもめに花が咲く …… (122)	我が強い …………… (128)
恩に着せる …………… (122)	輝くもの必ずしも金なら ず …………… (128)
乳母日傘 …………… (122)	書き入れ時 …………… (128)
	鍵の穴から天をのぞく … (128)
	餓鬼も人数 …………… (129)

核心を衝く	(129)	肩で息をする	(135)
隠すより現わる	(129)	肩で風を切る	(135)
学問に王道なし	(129)	片手で錐はもまれぬ	(135)
駆け馬に鞭	(129)	肩の荷が下りる	(135)
影が薄い	(129)	片肌を脱ぐ	(135)
駆けつけ三杯	(130)	片腹痛い	(135)
陰で糸を引く	(130)	片棒を担ぐ	(136)
陰になり日向になり	(130)	肩身が狭い	(136)
駆引きを使う	(130)	肩身が広い	(136)
影も形も無い	(130)	語るに落ちる	(136)
籠で水を汲む	(131)	肩を入れる	(136)
駕籠に乗る人、担ぐ人、その		肩を落とす	(137)
また草履を作る人	(131)	肩を貸す	(137)
風上にも置けない	(131)	肩を疎める	(137)
嵩に懸かる	(131)	片を付ける	(137)
笠に着る	(131)	肩を並べる	(137)
火事のあとの釘拾い	(132)	肩を持つ	(137)
火事のあとの火の用心	(132)	火中の栗を拾う	(138)
頭に雪を戴く	(132)	鏝節を猫に預ける	(138)
梶を取る	(132)	隔靴搔痒	(138)
数限りない	(132)	格好を付ける	(138)
数知らず	(132)	渴して井を穿つ	(138)
霞を食う	(133)	渴しても盗泉の水を飲ま	
風薫る	(133)	ず	(138)
稼ぐに追いつく貧乏なし		勝手が違う	(139)
	(133)	勝ってかぶとの緒を締めよ	
風の便り	(133)		(139)
風邪は万病の元	(133)	勝手な熱を吹く	(139)
風を切る	(133)	合点が行かない	(139)
風見て帆を使え	(134)	河童に水練	(139)
数える程	(134)	河童の川流れ	(140)
肩が軽くなる	(134)	活を入れる	(140)
肩が凝る	(134)	勝てば官軍、負ければ賊	
片が付く	(134)	軍	(140)
敵を討つ	(134)	我田引水	(140)

瓜田に履を納れず …………… (140)	鴨が葱をしょって来る …… (147)
角が立つ …………… (140)	かにもする …………… (147)
角が取れる …………… (141)	可も無く不可も無し …… (147)
かなわぬ時の神頼み …… (141)	痒い所へ手が届く …… (147)
金があれば馬鹿も旦那 … (141)	からすの行水 …………… (148)
金が喰る …………… (141)	体があく …………… (148)
金がものを言う …………… (141)	体に障る …………… (148)
金に糸目をつけぬ …… (142)	体を張る …………… (148)
金に親子兄弟なし …… (142)	柄にもない …………… (148)
金にする …………… (142)	狩人民にかかる …… (149)
金に目が眩む …………… (142)	借りる時の地藏顔、返す時 の閻魔顔 …………… (149)
金の切れ目が縁の切れ目 …………… (142)	枯れ木に花 …………… (149)
金のないは首の無いに劣 る …………… (143)	枯れ木も山の賑い …… (149)
金の草鞋で尋ねる …… (143)	彼を知り己を知れば百戦 殆からず …………… (150)
金は天下の回り物 …… (143)	かわいい子には旅をさせ よ …………… (150)
金回りがいい …………… (143)	可愛さ余って憎さ百倍 …… (150)
金持ち喧嘩せず …… (143)	川立ちは川で果てる …… (150)
金を寝かす …………… (144)	皮引けば身が痛い …… (151)
禍福は糾える縄のごとし …………… (144)	皮を被る …………… (151)
兜を脱ぐ …………… (144)	川向いの火事 …………… (151)
画餅に帰す …………… (144)	我を折る …………… (151)
壁に耳あり障子に目あり …………… (145)	我を張る …………… (151)
壁を破る …………… (145)	感慨無量 …………… (152)
果報は寝て待て …… (145)	感極まる …………… (152)
鎌を掛ける …………… (145)	眼光紙背に徹す …… (152)
袂を脱ぐ …………… (146)	閑古鳥が鳴く …… (152)
上正しからざれば下これ にならう …………… (146)	勘定高い …………… (152)
雷が落ちる …………… (146)	勘定に入れる …… (153)
髪結いの乱れ髪 …… (146)	間然する所無し …… (153)
亀の甲より年の劫 …… (147)	肝胆相照らす …… (153)
	邯鄲の夢 …………… (153)
	眼中人無し …………… (153)

喰んで含める …………… (153)	気が利く …………… (159)
艱難辛苦 …………… (154)	気が気でない …………… (159)
艱難汝を玉にす …………… (154)	気が知れない …………… (159)
寒に帷子土用に布子 …… (154)	気が進まない …………… (159)
堪忍の忍の字が百貫する …………… (154)	気が済む …………… (160)
堪忍袋の緒が切れる …… (154)	気が急ぐ …………… (160)
間髪を容れず …………… (154)	気が散る …………… (160)
看板倒れ …………… (155)	気が付く …………… (160)
看板に偽りあり …………… (155)	気が強い …………… (160)
看板より中味 …………… (155)	気が咎める …………… (161)
完膚なきまで …………… (155)	気が無い …………… (161)
雁も鳩も食わねば味知れ ぬ …………… (156)	気が抜ける …………… (161)
棺をおおうて事定まる … (156)	気が引ける …………… (161)
	気が短い …………… (161)
	気が向く …………… (162)
	気が揉める …………… (162)
	気が滅入る …………… (162)
	木から落ちた猿 …………… (162)
	危機一髪 …………… (162)
	聞き上手の話し下手 …… (163)
	聞き耳を立てる …………… (163)
	聞くともしに聞く …… (163)
	聞くは一時の恥、聞かぬは 一生の恥 …………… (163)
	聞く耳持たぬ …………… (163)
	聞けば気の毒、見れば目の 毒 …………… (164)
	機嫌を損じる …………… (164)
	機嫌を取る …………… (164)
	機嫌を直す …………… (164)
	起死回生 …………… (164)
	雉子も鳴かずば打たれま い …………… (165)
	疑心暗鬼を生ず …………… (165)
	傷が付く …………… (165)

き

気合いを入れる …………… (156)
気合いを掛ける …………… (156)
聞いた百より見た一つ … (156)
聞いた百文より見た一文 …………… (156)
聞いて極楽見て地獄 …… (157)
機運が熟する …………… (157)
気炎を上げる …………… (157)
気が合う …………… (157)
気がある …………… (157)
気がいい …………… (158)
気が大きい …………… (158)
気が置ける …………… (158)
気が重い …………… (158)
気が勝つ …………… (158)
気が変わる …………… (159)
気が利きすぎて間が抜け る …………… (159)

傷を付ける	(165)	九死に一生を得る	(172)
帰する所	(165)	牛耳を執る	(172)
切っても切れない	(165)	九仞の功を一簣に欠く	(172)
狐と狸のだましあい	(166)	窮すれば通ず	(173)
木で鼻を括る	(166)	窮鼠猫をかむ	(173)
軌道に乗る	(166)	窮鳥懐に入れば獵師も殺さ ず	(173)
気に入る	(166)	今日あって明日ない身	(173)
気に掛かる	(167)	教育は百年の大計	(173)
気に掛ける	(167)	胸襟を開く	(174)
気に食わない	(167)	兄弟は他人のはじまり	(174)
気に障る	(167)	今日の後に今日なし	(174)
気にする	(167)	今日の一針明日の十針	(174)
気に染まない	(168)	今日は今日、明日は明日	(174)
木に竹を接ぐ	(168)	器用貧乏	(174)
気に留める	(168)	興味津津	(174)
気になる	(168)	虚勢を張る	(174)
気に病む	(168)	漁夫の利	(175)
木に縁りて魚を求む	(169)	虚を衝く	(175)
着のみ着のまま	(169)	きりが無い	(175)
気は心	(169)	桐一葉落ちて天下の秋を知 る	(175)
牙を研ぐ	(169)	麒麟も老いては驚馬に劣 る	(176)
牙を剥く	(169)	気を失う	(176)
木仏金仏石仏	(170)	気を利かす	(176)
気骨が折れる	(170)	気を配る	(176)
きまりが付く	(170)	気を遣う	(176)
きまりが悪い	(170)	気をつける	(177)
肝が据わる	(170)	気を取られる	(177)
肝が小さい	(170)	気を取り直す	(177)
気もそぞろ	(171)	気を吐く	(177)
肝に銘じる	(171)	気を回す	(177)
胆は大きく心は小さく持 て	(171)	義を見てせざるは勇なきな	
肝を冷やす	(171)		
客をする	(171)		
脚光を浴びる	(172)		